

平成29年度短期入所サービス利用に関するアンケート調査報告

宮城県立こども病院

1 はじめに

平成28年3月、本県の小児リハビリテーションの中核であった宮城県拓桃医療療育センターの機能を引き継いだ医療型障害児入所施設「宮城県立拓桃園」が開所し、これにより、小児・周産期の急性期から慢性期、リハビリテーション、在宅医療までを一貫して担う医療・福祉施設となりました。

「宮城県立拓桃園」の開所に伴い開始した「短期入所サービス」については、利用件数が増加傾向にあります。今後さらなる短期入所サービスの充実を図るため、サービスの利用が介護者の生活に与える効果について、過去一年間に短期入所サービスを利用した介護者の皆様を対象とした「アンケート調査」を実施いたしました。以下に、調査の結果をご報告いたします。

2 調査目的

短期入所の意義を明らかにし、短期入所サービス利用が介護者の生活に与える効果を分析することで、今後のさらなるサービス向上と利用機会の促進につなげるため。

3 調査実施期間

平成29年8月～同年9月

4 実施方法

利用者の背景に関する内容と、利用前後の変化について、「睡眠時間」、「きょうだいの行事参加」等、日本重症心身障害福祉協会による2013（平成25）年度実態調査の内容を参考に作成した自記式の質問紙を配付し、郵送法または留置法で回収しました。

5 配付数及び回答数

対象者	配付数	回答数	有効回答率
介護者	153人	131人	85.6%

6 調査結果の見方

- ・ 利用者の背景や利用状況については、単純集計しました。
- ・ 短期入所サービス利用前後の変化については、「4：ある（できる）」、「3：まあまあある（まあまあできる）」、「2：あまりない（あまりできない）」、「1：ない（できない）」と4段階評定尺度で調査しました。
- ・ 基数となる数値は、「調査数」としました。「調査数」は、「回答数」から「該当しない」件数、つまり割合の計算の対象としない数値を除いた数としました。
- ・ 割合は調査数を100%として算出しています。パーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。

7 調査結果

<p>(1) お子さんの年齢について</p>
<p>[結果] 年齢は、1～5歳が28人(21.4%)、6～12歳が57人(43.5%)、13～17歳が30人(22.9%)、18歳以上が16人(12.2%)でした。</p>
<p>(2) 医療ケアの状態について(複数回答可)</p>
<p>[結果] 医療的ケアの状態(複数回答n=281)は、経管栄養(胃瘻含む)が103人(36.7%)、吸引が77人(27.4%)、酸素療法が32人(11.4%)、気管切開が31人(11.0%)、人工呼吸器が18人(6.4%)、導尿が15人(5.3%)、医療的ケアなしが5人(1.8%)でした。</p>
<p>(3) 主たる介護者について</p>
<p>[結果] 主たる介護者は、母親が121人(92.3%)、祖母が4人(3.1%)、父親が3人(2.3%)、祖父母が2人(1.5%)、両親(夫婦)が1人(0.8%)でした。</p>
<p>(4) 主たる介護者の年齢について</p>
<p>[結果] 主たる介護者の年齢は、40歳代が50人(38.2%)、30歳代が47人(35.9%)、50歳代が14人(10.7%)、20歳代が13人(9.9%)、60歳代が7人(5.3%)でした。</p>
<p>(5) 主たる介護者の職業・雇用形態について</p>
<p>[結果] 主たる介護者の職業・雇用形態は、専業主婦が80人(61.1%)、パート・アルバイトが24人(18.3%)、正職員が14人(10.7%)、無職が8人(6.1%)、自営業が5人(3.8%)でした。</p>
<p>(6) 介護への協力者について(複数回答可)</p>
<p>[結果] 介護への協力者(複数回答n=247)は、訪問看護・訪問介護などの福祉サービスの利用が96人(38.9%)、父親(夫)が79人(32.0%)、祖母が23人(9.3%)、祖父母が12人(4.9%)、祖父が9人(3.6%)、母親(妻)が6人(2.4%)、叔父(伯父)や叔母(伯母)が4人(1.6%)、両親(夫婦)が3人(1.2%)、きょうだいが3人(1.2%)、協力者なしが12人(4.9%)でした。</p>
<p>(7) 短期入所利用状況について (利用期間：平成28年4月～平成29年6月まで) イ これまでの利用回数について</p>
<p>[結果] 過去一年間の短期入所サービスの利用回数は、2回以上の複数回の利用が113人(86.2%)で、1回のみは18人(13.7%)でした。また、2回以上の利用者(n=113)の利用間隔は、ほぼ毎月が33人(29.2%)で、2～3か月毎定期的が36人(31.9%)、不定期が44人(38.9%)でした。</p>
<p>ロ 1回当たりの利用日数について</p>
<p>[結果] 1回当たりの利用日数は、3日間で52人(39.7%)、4日間で31人(23.7%)、5日間で21人(16.0%)、2日間で14人(10.7%)、7日間で9人(6.9%)、日帰りが2人(1.5%)、その他が2人(1.5%)でした。</p>

○ 短期入所サービス利用前後の変化について （集計結果の詳細は「別紙」参照）

(1) 睡眠時間は十分である	【図1】
[結果] 利用前は、睡眠時間が十分かについて、「1：ない」が20人でしたが、利用後は、20人の内の12人が「2：あまりない」、8人が「3：まあまあある」に変化し、「1：ない」が0人となりました。	
(2) 熟睡感がある	
[結果] 利用前は、熟睡感が「4：ある」が25人でしたが、利用後は、80人に増加しました。	
(3) 食欲がある	
[結果] 利用前は、食欲が「4：ある」が24人、「3：まあまあある」が98人でしたが、利用後は、「4：ある」が62人、「3：まあまあある」が61人となりました。	
(4) 介護への肉体的疲労感がある	【図2】
[結果] 利用前は、肉体的疲労感が「4：ある」が66人、「3：まあまあある」が50人でしたが、利用後は、「4：ある」が5人、「3：まあまあある」が19人となり、改善が認められました。	
(5) 介護への精神的ストレスがある	
[結果] 利用前は、精神的ストレスが「4：ある」が43人、「3：まあまあある」が58人でしたが、利用後は、「4：ある」が5人、「3：まあまあある」が36人となり、改善が認められました。	
(6) ゆっくりできたと感じる時間がある	【図3】
[結果] 利用前は、ゆったりできたと感じる時間が「1：ない」が14人でしたが、利用後は0人に減少し、「4：ある」が75人に増加しました。	
(7) きょうだいの世話ができています	【図4】
[結果] 利用前は、きょうだいの世話が「4：できる」が8人でしたが、利用後は69人に増加しました。また、利用前に「1：できない」と回答した8人については、利用後には0人に減少しました。	
(8) きょうだいの学校行事に参加できている	【図5】
[結果] 利用前は、きょうだいの学校行事に参加が「2：あまりできない」が66人でしたが、その内の58人が、利用後は「4：できた」に変化しました。また、利用後は「2：あまりできない」及び「1：できない」が0人に減少しました。	
(9) 仕事（家事）に対して意欲を持てている	
[結果] 利用前は、仕事（家事）に対して意欲が「4：ある」が14人、「3：まあまあある」が42人でしたが、利用後は、「4：ある」が44人、「3：まあまあある」が76人となり、改善が認められました。	

(10) 仕事（家事）ができている	【図6】
<p>[結果] 利用前は、仕事（家事）が「1：できない」が11人でしたが、利用後は、その内の7人が「2：あまりできない」、4人が「3：まあまあできる」となり、利用後については「1：できない」が0人と、改善が認められました。</p>	
(11) 自分の時間が持てる	【図7】
<p>[結果] 利用前は、自分の時間を持つことが「4：できる」が19人でしたが、利用後は81人に増加しました。</p>	
(12) 夫婦（パートナー）でゆっくり過ごせたと感じる	【図8】
<p>[結果] 利用前は、夫婦（パートナー）でゆっくり過ごせたと感じるものが「2：あまりない」が80人でしたが、利用後は、その内の38人が「4：できる」、34人が「3：まあまあできる」、8人が「2：あまりできない」となり、改善が認められました。</p>	
(13) 夫婦（パートナー）でゆっくり過ごす時間がある	
<p>[結果] 利用前は、夫婦（パートナー）でゆっくり過ごす時間が「4：ある」が3人、「3：まあまあある」が19人でしたが、利用後は、「4：ある」が18人、「3：まあまあある」が64人となり、改善が認められました。</p>	

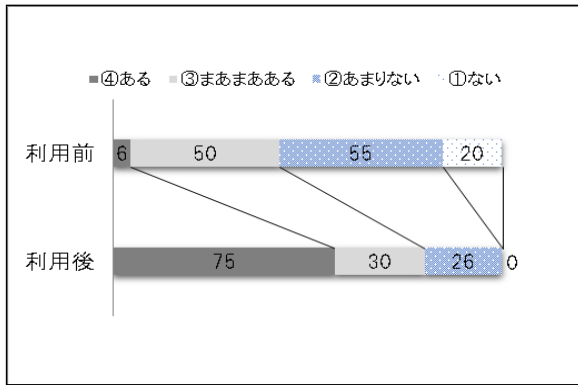


図1 「睡眠時間は十分である」
の利用前後の変化

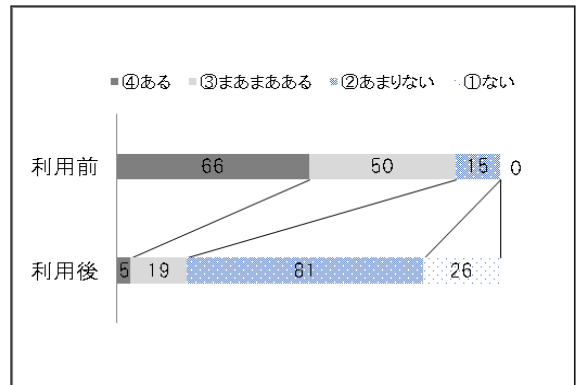


図2 「介護への肉体的疲労感がある」
の利用前後の変化

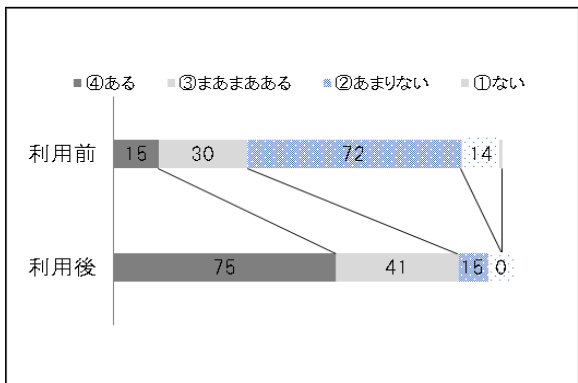


図3 「ゆっくりできたと感じる時間がある」
の利用前後の変化

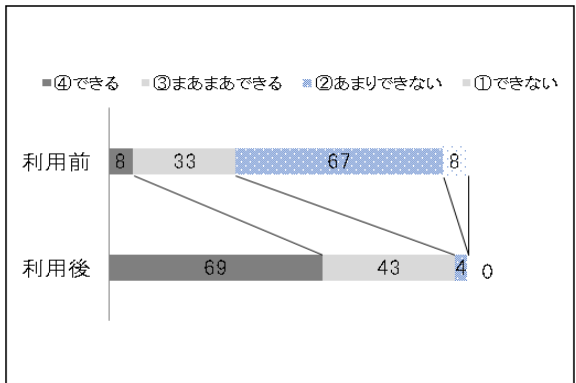


図4 「きょうだいの世話ができている」
の利用前後の変化

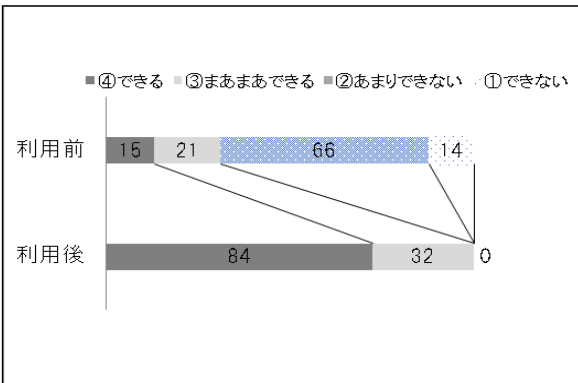


図5 「きょうだいの学校行事に参加できている」
の利用前後の変化

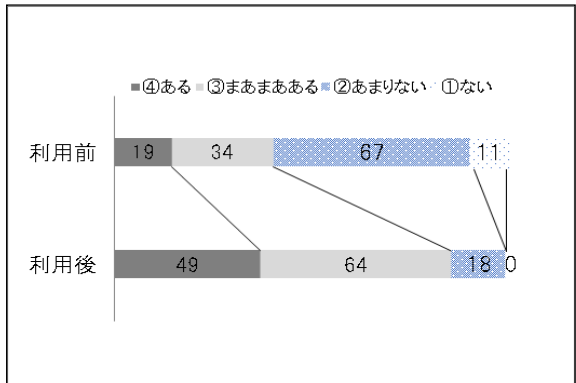


図6 「仕事（家事）ができています」
の利用前後の変化

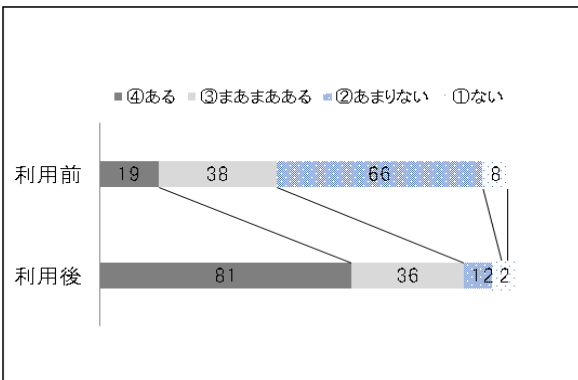


図7 「自分の時間が持てる」
の利用前後の変化

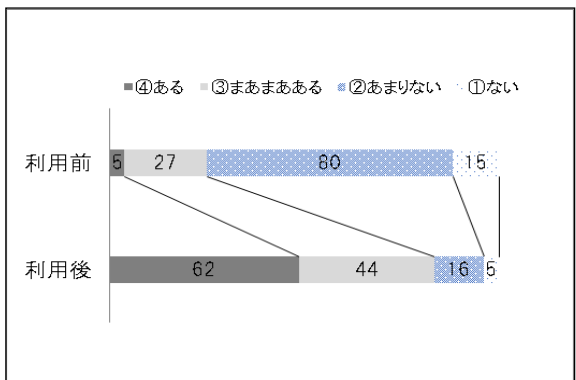


図8 「夫婦（パートナー）とゆっくり過ごせたと
感じることもある」の利用前後の変化

8 調査結果のまとめ

本調査において、サービスの利用後に睡眠時間が十分あると感じることや自分の時間が持てるなど、サービス利用中の限られた時間であっても、休息やリフレッシュができるといった改善が認められました。また、夫婦（パートナー）とゆっくり過ごせたと感じるといった改善がみられたことは、介護者だけではなくその家族の休息やリフレッシュにも有効であることがわかりました。

介護への協力者が、福祉サービス利用の次に父親（夫）であり、母親の代替介護者が同居の家族である現状を踏まえると、在宅生活を円滑に行うことができるように、短期入所サービスの利用を促進していくことが重要です。

本調査においては、主たる介護者の約 90%が母親でした。サービス利用前は介護による肉体的疲労感を示す回答が顕著でしたが、利用後には肉体的疲労感が軽減する傾向を示しました。短期入所サービスの利用によって、睡眠やゆっくりする時間などの休息が取れ、そのことが身体的疲労の軽減にも効果をもたらすと考えられます。このことから、短期入所サービスの利用は、介護負担の軽減に効果的であることがわかりました。

さらに、介護者である母親の約 70%は 30～40 歳代であり、様々な役割が期待される年代でした。サービス利用前は自分の時間やきょうだいの世話や行事への参加、仕事（家事）ができないと感じている利用者が多かったものの、利用後にはできたと感じる傾向が認められました。短期入所サービスの利用は、日々の生活の中で果たせていないと感じている介護者の役割遂行を促すことにも効果があることがわかりました。

調査の結果からわかった短期入所サービスの利用の実態、介護者やその家族の生活に与える効果等を生かして、利用者の皆様の目線に立ったサービスの向上及び利用機会の促進に真摯に取り組んでまいります。

以上

平成29年度短期入所サービス利用に関するアンケート調査 集計表

		ある (できる)	まあまあある (まあまあできる)	あまりない (あまりできない)	ない (できない)	該当 しない	①~⑤ の計	調査数	中央値
		④	③	②	①	⑤	A	A-⑤	B
(1) 睡眠は十分である	利用前	6	50	55	20	0	131	131	2
		4.6%	38.2%	42.0%	15.3%				
	利用後	75	30	26	0	0	131	131	4
		57.3%	22.9%	19.8%	0.0%				
(2) 熟睡感がある	利用前	25	31	48	27	0	131	131	2
		19.1%	23.7%	36.6%	20.6%				
	利用後	80	25	21	5	0	131	131	4
		61.1%	19.1%	16.0%	3.8%				
(3) 食欲がある	利用前	24	98	8	1	0	131	131	3
		18.3%	74.8%	6.1%	0.8%				
	利用後	62	61	8	0	0	131	131	3
		47.3%	46.6%	6.1%	0.0%				
(4) 介護への肉体的疲労感がある	利用前	66	50	15	0	0	131	131	4
		50.4%	38.2%	11.5%	0.0%				
	利用後	5	19	81	26	0	131	131	2
		3.8%	14.5%	61.8%	19.8%				
(5) 介護への精神的ストレスがある	利用前	43	58	26	4	0	131	131	3
		32.8%	44.3%	19.8%	3.1%				
	利用後	5	36	68	22	0	131	131	2
		3.8%	27.5%	51.9%	16.8%				
(6) ゆっくりできたと感じる時間がある	利用前	15	30	72	14	0	131	131	2
		11.5%	22.9%	55.0%	10.7%				
	利用後	75	41	15	0	0	131	131	4
		57.3%	31.3%	11.5%	0.0%				
(7) きょうだいの世話ができています	利用前	8	33	67	8	15	131	116	2
		6.9%	28.4%	57.8%	6.9%				
	利用後	69	43	4	0	15	131	116	4
		59.5%	37.1%	3.4%	0.0%				
(8) きょうだいの学校行事に参加できています	利用前	15	21	66	14	15	131	116	2
		12.9%	18.1%	56.9%	12.1%				
	利用後	84	32	0	0	15	131	116	4
		72.4%	27.6%	0.0%	0.0%				
(9) 仕事(家事)に対して意欲を持っています	利用前	14	42	63	12	0	131	131	2
		10.7%	32.1%	48.1%	9.2%				
	利用後	44	76	10	1	0	131	131	3
		33.6%	58.0%	7.6%	0.8%				
(10) 仕事(家事)ができています	利用前	19	34	67	11	0	131	131	2
		14.5%	26.0%	51.1%	8.4%				
	利用後	49	64	18	0	0	131	131	3
		37.4%	48.9%	13.7%	0.0%				
(11) 自分の時間が持てる	利用前	19	38	66	8	0	131	131	2
		14.5%	29.0%	50.4%	6.1%				
	利用後	81	36	12	2	0	131	131	4
		61.8%	27.5%	9.2%	1.5%				
(12) 夫婦(パートナー)でゆっくり過ごせたと感じることがある	利用前	5	27	80	15	4	131	127	2
		3.9%	21.3%	63.0%	11.8%				
	利用後	62	44	16	5	4	131	127	3
		48.8%	34.6%	12.6%	3.9%				
(13) 夫婦(パートナー)でゆっくり過ごす時間がある	利用前	3	19	87	18	4	131	127	2
		2.4%	15.0%	68.5%	14.2%				
	利用後	18	64	38	7	4	131	127	3
		14.2%	50.4%	29.9%	5.5%				